

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	文化観光国際部 文化振興・世界遺産課	松尾 泰子
施策名	5 特色ある文化資源・スポーツによる地域活性化	事業群関係課(室)	観光振興課、物産ブランド推進課	
事業群名	① 歴史や文化芸術による地域活性化	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	105,312

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)

本県の特徴ある歴史や文化芸術による地域づくり、それを担う人材の育成、文化資源を活用した地域の取組への支援など、官民協働で地域の文化資源を磨き上げるにより、歴史や文化芸術による地域の活性化を図ります。

(取組項目)

i) 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供

ii) 本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築

iii) 継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施

iv) 長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と

事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	(進捗状況の分析) 地域文化資源の磨き上げや伝統文化の継承に積極的に取り組む地域を支援する市町等への補助を継続して行い、地域主体の継続的な事業への転換がさらに推進された。 参加者数については、ながさきピース文化祭2025の開催を契機とした文化芸術への機運醸成が図られたことにより、令和5年度から増加した。ながさきピース文化祭2025の開催に際し、県民が県内のどの地域でも文化芸術の鑑賞やイベントへの参加ができるよう、ながさきピース文化祭2025と連携した情報発信等を効率的に実施しながら、最終目標達成に向けて取り組んでいく。
	地域と協働して実施するイベントへの参加者数	目標値①		15,100人	15,500人	15,900人	16,300人	16,700人	16,700人（R7）	
		実績値②	13,290人（H30）	12,677人	13,713人	14,451人	16,378人		進捗状況	
		達成率②／①		83%	88%	90%	100%		順調	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等
				R5実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率	
				R6実績					R6目標	R6実績		
				R7計画					R7目標			
				事業実施の根拠法令等								
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業		他の評価 対象事業 (公共、研究等)				
所管課(室)名			事業対象									
取組項目 i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費	37,710	9,013	5,361	●事業内容 県民に良質な文化芸術に触れられる機会を提供し、芸術文化活動の促進と県民文化の向上を推進するため、長崎県美術展覧会（県展）の開催や長崎県文化団体協議会への支援を行う。 ●実施状況 長崎県美術展覧会（県展）及び同移動展を県内各地で開催したほか、県内の文化団体相互の連絡協調を行い、文化芸術活動を促進して県民文化の向上を図るため補助を行った。	【活動指標】	5	5	100%	●事業の成果 ・県内5カ所での展覧会を開催し、県民の芸術鑑賞・参加機会の創出と、美術活動の普及促進を図ることができた。 ・長崎県文化団体協議会に文化芸術分野の専門人材を配置し、新人演奏会の開催や新人演奏会出演者を活用したコンサート等の企画・運営、地域の文化団体活動への支援を行うことにより、芸術鑑賞・参加の機会を創出した。 ●事業群の目標達成への寄与 ・県民のニーズに応じた文化芸術活動を支援することにより、県民文化の向上を図ることができた。
				30,803	10,745	6,938		展覧会の回数(回)	5	5	100%	
									5			
									【活動指標】	15	17	
				34,313	12,150	6,933		主催事業（自主事業）実施件数（件）	15	14	93%	
									15			
									【成果指標】	15,000	13,008	
				R2-	—			県展の観覧者数（人）	15,000	13,135	87%	
									15,000			
			【成果指標】				12,000		14,263	118%		
			文化振興・世界遺産課	—	—	—	長崎県美術展覧会実行委員会、長崎県文化団体協議会	主催事業（自主事業）参加者数（人）	12,000	13,105	109%	
								12,000				

取組項目 i	○	2	ながさき未来のアーティスト応援事業費				●事業内容 地理的・経済的な格差なく、子どもたちが地域で主体的に文化芸術活動に取り組むことができる「こども場所」をつくるため、子どもたちが求める分野の指導者を派遣し、文化芸術活動への参画機会を創出する。 ●実施状況 離島・半島・過疎地域の子どもたちに向けて音楽・美術・演劇の3つのジャンルから専門人材が講師の選定を行い、ワークショップ「未来のアーティスト教室」を開催し、地理的要因により、生の文化芸術に触れる機会の少ない地域の子どもたちが文化芸術活動に主体的に参加する機会の創出を行った。	【活動指標】 文化芸術に触れられる「こども場所」の数(箇所)				●事業の成果 ・離島・半島・過疎地域11カ所で子どもたちが文化芸術活動を始める契機となるようなワークショップを行い、身近な場所で良質な文化芸術を体験し、アーティストから指導を受ける機会の場を提供した。 ・講師として本県にゆかりのあるアーティストや指導者をワークショップへ派遣することで、活躍の場を創出することができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・関係部局や市町行政、児童館等の受入施設へ事業の情報共有を行ったことで、ワークショップに参加した子ども達だけでなく、地域の人々の文化芸術活動への関心を高めることに寄与した。
				4,038	2,020	7,884			10	11	110%	
				8,756	4,378	7,878			12			
			R6-8					【成果指標】				
			文化振興・世界遺産課	—	—	—	離島・半島・過疎地域の子どもたち	こども場所での活動への参加者数(人)	200	191	95%	
取組項目 ii		3	<ビジョン> マニアが集う長崎プロジェクト費				●事業内容 県内各地に様々なジャンルの聖地・拠点を創出し、多くのマニア(愛好家)の誘客を図るため、市町・民間と連携して、潜在するコンテンツを掘り起こし磨き上げるとともに、情報発信及び受入環境整備を促進する。 ●実施状況 県内外での書店フェアや企画展の開催、出版社訪問や作家招へいによる創作支援、ロケ地マップや特設サイトを活用した情報発信、さらに動画制作とSNS広告による県産酒の魅力発信を通じて、地域資源の活用と誘客促進を図った。	【活動指標】 —				●事業の成果 ・県内各地に多様な聖地・拠点を創出する取組として、SNSを活用した情報発信によりイベント参加者の誘導を図るとともに、ロケ支援では市町と連携し、前年を上回る403件の支援を実現。ロケ地マップや特集ページの整備も進めた。さらに、県産酒の魅力を伝える動画は累計15万回再生を超え、書店フェアや企画展でも高い満足度を得るなど、マニア層への訴求に繋がった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・作品ゆかりの地域との連携やロケ支援、SNS等を活用した情報発信を通じて、地域の魅力向上と誘客促進を図り、地域活性化に寄与した。
				29,495	27,496	17,931						
				57,294	30,882	12,606						
			R6-8					【成果指標】				
			文化振興・世界遺産課 観光振興課 物産ブランド推進課	—	—	—	様々なジャンルのマニア	本事業の取組により本県へ行きたいと思った人の割合(%)	70	90	128%	
	○	3-1	<ビジョン> マニアが集う長崎プロジェクト費				●事業内容 アニメや小説等の聖地化及び誘客促進のため、本県を舞台とした作品の創作支援、小説等のマニアや作家のファン向けのSNSを活用した情報発信、書店フェア等を開催し、作品舞台を巡る「聖地巡礼」など交流人口の拡大を図る。 ●実施状況 県内2カ所、東京・名古屋・福岡の3カ所の書店で、本県を舞台にしたマンガや小説等を紹介する書店フェア、長崎歴史文化博物館で、本県を舞台にしたアニメ・マンガ作品や、本県出身漫画家等を紹介する企画展を開催した。 また、本県を舞台にしたマンガや小説等の作品を増やすため、首都圏の出版社を訪問し、本県の地域資源の売り込みを行ったほか、作家等を取材に招へいして作品の創作支援を行った。	【活動指標】 イベント開催数(件)				●事業の成果 ・イベントではSNSを中心とした情報発信を行い、SNSで興味・関心を持った人がイベントに参加する流れにつながった。 ・また、来場者アンケートの結果、書店フェアでは約70%、企画展では約80%の来場者が満足と回答し、いずれも高い評価を得られた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・作品にゆかりのある市町や関係団体と連携したことで、イベントの企画内容がより充実し、来場者の高い満足度及び来場者数の増加に寄与した。
				2,788	2,565	3,154		2	2	100%		
								2				
								【活動指標】 創作を支援した出版関係者・作家数(人)	5	3	60%	
				10,096	6,991	3,152		5				
			R6-8					【成果指標】 イベント参加者数(人)	8,000	9,440	118%	
			文化振興・世界遺産課	—	—	—	出版社・作家・県内外のマニア等	【成果指標】 長崎県を舞台にした作品数(本・累計)	27	25	92%	
								29				

取組項目 ii	3-2	<ビジョン> マニアが集う長崎プロジェクト費（ロケ地ファン創出誘客促進事業）（参考）				●事業内容 本県への誘客や県内周遊を図るため、本県を舞台とした映画やドラマ等のロケ支援活動のほか、作品ロケ地等を活用した情報発信等の取組を実施する。 ●実施状況 ロケ支援活動に加え、版權交渉などロケ地情報活用ノウハウの取得やロケ誘致活動の強化のため「ロケツーリズム協議会」へ参画するとともに、ロケ地マップ・特設サイトの作成等による情報発信を実施し、本県がロケ地となった映像作品のファンの誘客・周遊促進を図った。	【活動指標】				●事業の成果 ・制作関係者が集まるロケ地商談会に市町と連携して積極的に参加し、県内各地のロケ候補地の紹介などが増えたため、各市町・観光協会による直接的な支援が増加し、活動指標は目標を下回ったものの、県内の総支援件数は、前年より18件増加し403件となった。 ・また、ロケ地マップの作成や、観光ポータルサイト「ながさき旅ネット」内のロケ地特集ページでの紹介、モデルコースの掲載、SNSを活用した情報発信などを実施したことで、作品を通じた本県の魅力発信にもつながった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・細やかなロケ支援や積極的な売込み等でロケ誘致を図るとともに、映像作品を新たな観光コンテンツとして活用し本県の魅力・観光情報を発信することで、本県への誘客・周遊促進に寄与した。			
			13, 284	13, 284	7, 884		ロケ支援件数（件）	135	116	85%				
		(R6終了)R6					【成果指標】							
		観光振興課	—	—	—		映画、テレビ等の制作会社、一般観光客等	特設WEBページの閲覧数（万PV／年）	1	1		100%		
	3-3	<ビジョン> マニアが集う長崎プロジェクト費（アニメ・ロケ地ファン誘客促進事業）（参考）				●事業内容 本県への誘客や県内周遊を図るため、本県を舞台とした映画やドラマ等のロケ支援活動、作品ロケ地等を活用した情報発信等の取組に加えて、海外を含めた熱心なファンが多いアニメ作品を活用した聖地巡礼ツアーやファン交流イベント等を実施。	【活動指標】				—			
			25, 000	12, 500	5, 515		ロケ支援件数（件）※市町等含む	390						
		(R7新規)R7-9					【成果指標】							
		観光振興課	—	—	—		映画、テレビやアニメ等の制作会社、一般観光客等	アニメ聖地登録件数（件）	6					
	3-4	<ビジョン> マニアが集う長崎プロジェクト費（参考）				●事業内容 アフターコロナにおいて、消費が落ち込んだ観光や酒類市場を活気づけるため、長崎県産酒のコアな魅力を全国の酒マニアに届け、長崎のファンになってもらい、訪れてもらうことで交流人口の拡大及び酒類市場の活性化につなげる。 ●実施状況 ・YouTubeチャンネルを開設し、県内6つの蔵元のそれぞれの魅力を引き出す取材及び動画編集により、クオリティの高い動画群を投稿するとともに、YouTube及びInstagramによる情報発信・広告の投下により、ターゲットを絞って認知の拡大を図った。 お酒に興味関心のある関東、関西、福岡圏の方、県内飲食店	【活動指標】				●事業の成果 ・クオリティの高い動画の作成や継続的な情報発信・ターゲットへの効果的な広告の投下により、動画の累計再生数が15万回を超えた。これにより県産酒の「コアな魅力」酒マニアに向けて発信できた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・YouTubeチャンネル及びInstagramアカウントでの情報発信を行うことで、県産酒の認知度向上や販売促進に寄与した。また、食とのペアリングを取り上げ、長崎ならではの「食の魅力」の発信に寄与した。			
			13, 423	11, 647	6, 893		動画作成本数（累計）（本）	3	6	200%				
			22, 198	11, 391	3, 939		【成果指標】							
		R6-8					動画再生回数（累計）（回）	116, 500	150, 220	128%				
		物産ブランド推進課	—	—	—			698, 400						

取組項目 iii	○	4	みんなで創る！ながさき国際文化芸術プロジェクト事業費	20, 114	2, 761	7, 659	●事業内容 ながさきピース文化祭2025の開催に向けて、地域資源の磨き上げや伝統文化の継承に積極的に取り組む地域を重点的に支援する。また、全県域における若者を対象としたイベントやワークショップ等の取組により「ながさき愛」を高め、交流人口の拡大、人口定着を図る。 ●実施状況 ながさきピース文化祭2025の開催に向けて、R5年度から継続して地域文化資源の磨き上げや伝統文化の継承に積極的に取り組む地域を支援した。また、若者参画型の文化芸術による地域づくりを通して、地域で活動することの楽しさを知ってもらい、交流人口の拡大・関係人口の創出と若者人口定着を図った。	【活動指標】	15, 900	14, 451	90%	●事業の成果 ・地域文化資源の磨き上げや伝統文化の継承に積極的に取り組む地域を支援する市町等への補助制度を継続したことに加え、ながさきピース文化祭2025の開催を契機とした地域文化への機運の醸成がイベント参加人数の増加に繋がった。 ・若者を対象としたダンスイベントを佐世保で開催し、若者が地域で文化活動を行うことへの関心を高めることができた。 ●事業群の目標達成への寄与 ・ながさきピース文化祭2025の開催に向けて地域文化への関心を高めることができたことで、事業を一過性のものではなく、継続的に実施するための文化芸術推進体制の基盤づくりに寄与した。
				22, 177	5, 531	5, 125		国民文化祭へ向けた地域で実施する文化資源の磨き上げや伝統文化の継承などの取り組みにかかる参加者数（人）	16, 300	16, 378	100%	
				20, 606	10, 944	5, 121			16, 700			
				—				【成果指標】	18	19	105%	
			—			国民文化祭へ向けた地域で実施する文化資源の磨き上げや伝統文化の継承などの取り組みにかかるイベントの実施回数（回）	20	19	95%			
			R4-7									
			文化振興・世界遺産課	—	—	—	市町等		21			
取組項目 iv	○	5	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費	10, 596	8, 793	26, 806	●事業内容 本県のプレゼンスの向上や中国との交流の深化を図るため、隠元禅師や孫文・梅屋庄吉などに象徴される長崎と中国との交流の歴史について国内外への効果的な情報発信を実施するとともに、本県の特色のある歴史文化を研究する「長崎学」や「日本遺産」を活用して国内・海外交流及び情報発信を強化する。 ●実施状況 長崎ゆかりの偉人顕彰については、黄檗文化交流会の開催などによる日中関係者の交流や、県内高校での「孫文と梅屋庄吉」講演会開催、ウェブサイト「旅する長崎学」による海外向け情報発信の強化に取り組んだ。 日本遺産「国境の島」については、日本遺産イベント（京都府・福島県）でのブース出展PR、長崎歴史文化博物館、県庁及び各協議会部会でのパネル展を行った。また、観光庁支援事業として「国境の島」多言語パンフレット（韓国語）を作成した。	【活動指標】	4	5	125%	●事業の成果 ・長崎と中国の交流の歴史や日本遺産等の歴史文化資源を活用した幅広い情報発信等に取り組んだほか、日中間の交流促進（中日黄檗文化交流大会への参加等）や民間交流活性化（福建省黄檗関係者と興福寺の相互訪問等）が図られた。 ・日本遺産「国境の島」については、観光庁の事業に採択され、国内外の情報発信に資するなど効果があった。 ●事業群の目標達成への寄与 ・日中関係者の交流による情報発信や、県内高校での講演、各種イベントの開催、ウェブサイトでの海外向け情報発信の強化などを行うことで、中国との交流の歴史や日本遺産をはじめとする長崎の文化資源について広く周知することができ、これらを担う人材の育成や、地域活性化へとつながる基盤づくりに寄与した。
					4	5		125%				
					4							
				【活動指標】	30	31		103%				
			日本遺産のPR活動件数（件）	30	30	100%						
				30								
			【成果指標】	72	100	138%						
			長崎と中国の繋がりの理解が深まった割合（％）	72	86	119%						
		72										
	【成果指標】	40	53	132%								
	日本遺産の認知度（％）	50	42	84%								
		50										
	</											

取組項目iv	○	7	長崎県文化観光推進事業費	5,433	1,786	3,315	●事業内容 文化観光推進法に基づく国の補助金等を活用した博物館などの文化観光拠点施設の機能強化や、食文化コンテンツの磨き上げ、文化観光理解促進PRブック制作等により、来館者の満足度向上、周遊促進を図る。 ●実施状況 文化観光拠点施設の機能強化として、長崎歴史文化博物館及び長崎県美術館での高精細画像データのながさきミュージアムネットワークシステムへの移行等を行った。 また、海外交流に根差した豊かな食の歴史を活かした文化観光コンテンツの増進を図ることを目的とした研究や、拠点施設や地域の魅力を発信する文化観光理解促進PRブック制作等を行った。	【活動指標】 長崎県文化観光推進協議会の開催数(回)	2	2	100%	●事業の成果 ・令和6年度は、長崎歴史文化博物館・長崎県美術館での高精細画像データのながさきミュージアムネットワークシステムへの移行等を行うことで、幅広い年齢層に対し、来館につながるような資料検索が可能となり、満足度向上が図れた。また、「キリシタン文化をはじめとする海外交流史」をテーマに拠点施設や地域の魅力を発信するガイドブックを作成することで周遊・再訪促進を図った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎県の特徴ある歴史文化の発信強化の取組により長崎県の文化観光への理解促進や地域周遊の活性化に寄与したほか、長崎県文化観光推進協議会の場における各施設や観光事業者の取り組みについての情報共有の実施により、各施設の文化観光施設としての魅力向上が実現できた。
				10,010	3,448	5,518			2	2	100%	
				9,957	3,583	5,514			2			
			R3-7				【成果指標】 文化観光拠点施設の中核館である歴史文化博物館と県美術館の満足度アンケート(5段階)	4.0	4.3	107%		
								4.0	4.5	112%		
			文化振興・世界遺産課	—	—	—		4.0				
				長崎県文化観光推進協議会								

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 県内のどこにいても音楽や美術などの良質な芸術に触れられる機会の提供	
●実績の検証及び解決すべき課題 優れた芸術鑑賞の機会が少ない地域においては、県展移動展のほか、長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館が行う移動展や遠隔授業等の実施により、県内各地において地域住民に優れた芸術文化鑑賞の機会を確保した。県展については、県展への親近感を醸成するため、チャリティーオークションや作品解説鑑賞会、小中学生を対象としたワークショップ、「入賞・入選作品貸出事業」に取り組んだ。令和6年度は、前年度と比べて観覧者数が増加したが、物価高騰の影響もあり同展の運営状況は厳しい状況が続いている。 長崎県文化団体協議会には、文化芸術分野の専門人材を配置し、より質の高い文化事業の企画・運営を目指し、体制強化を図った。地域の文化団体は、人口減少や高齢化により弱体化の傾向にあり、ながさきピース文化祭2025に向けて、支援のあり方を検討する必要がある。 地域住民に参画していただく「ながさき国際文化芸術祭」を実施することにより、良質な芸術に触れられる機会の提供が図られたが、子どもや若者が文化芸術への関心を高める取組につながっていない。また、離島や過疎地では身近な場所での文化芸術の鑑賞・体験機会が少なく、地域間格差がある。令和6年度から新たにながさき未来のアーティスト応援事業を実施し、県内で活動する文化芸術団体等から講師を派遣し、離島や過疎地域に住む子ども達が文化芸術を体験する機会の場を提供した。	●課題解決に向けた方向性 ながさきピース文化祭2025を契機に、子ども県展との連携を図るなど、県展の段階的な再編を検討し、出展数、観覧者数の増加につながるような「総合美術展」としてステップアップしていく。今後も、イベント等の集客や実施方法について、オンラインなどを活用した新たな手法を取り入れていくことを引き続き検討していく。また、出品数や観覧者数、協賛企業数の増加につながる運営方法の改善について、県展実行委員会と協議を進める。 地域文化活動の活性化を図るため、補助制度の見直しや専門人材を活かした支援のあり方を検討するとともに、ながさきピース文化祭2025文化団体補助制度やながさき未来のアーティスト応援事業を通して、新しい分野の団体の掘り起こしやネットワークの構築を図る。 イベント等の開催において、県内どこにいても良質な芸術に触れられる機会を創るため、オンラインの活用や分野を超えた連携など新たな手法の構築を検討していく。 文化芸術の専門人材を活用し、未来の文化芸術を担う子どもたちが、ワークショップ等を通じて地理的な格差なく、幼少期から身近な場所で優れた文化芸術に触れることができる場を提供するため、市町等との連携を図る。
ii 本県を舞台とした作品の創作支援、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築	
●実績の検証及び解決すべき課題 人口減少などにより地域の活力が低下するなか、地域の活力を再生するには、他県にはない個性的な取組や、交流人口等拡大のための各種施策、人的ネットワークの構築が重要である。本事業では、作家等を招聘し、本県をテーマとしたマンガや小説等が作品化されることで、本県の魅力発信に努めるとともに、出版社等との幅広い人的ネットワークの構築を推進した。 令和6年度から新たに「アニメ・小説」の「マニアが集う長崎プロジェクト」を実施し、イベントには県内外から多くの方が参加するなど、興味・関心の高さが伺えたが、本県はいわゆるサブカルチャーを基軸とした取組を行っておらず、当該分野を活用した地域活性化の取組は他の都道府県と比べて遅れている状態である。	●課題解決に向けた方向性 首都圏の出版社等を訪問し、他県に類を見ない本県の歴史、風土、景観等の地域資源のさらなる売り込みを行い、マンガ、小説などの分野で作品化を図る手法の確立を目指すとともに、「マニアが集う長崎プロジェクト」において、引き続き、より幅広い人的ネットワークの構築を図る。 今後は、創作支援から市町の協力を得ることができるよう仕組みを構築し、作家のファンや歴史、アニメ等のマニアが集うような聖地化を見据えた取り組みを連携して実施する。また、ファンやマニアによるSNSなどでの情報発信により、本県の地域資源の更なる魅力発信を図る。

iii	継続的な若手芸術家の支援及び若者の企画立案能力向上を図るための人材育成、離島地域を含む本県の多様な文化芸術を総合芸術祭として一体的に実施		
	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>文化芸術活動による地域づくりをさらに推進するため、従来の県が地域をけん引する形での事業ではなく、地域主体型への事業へと転換を図った。今後も各地域で持続可能な取組が継続されていく体制を構築することに努める。</p> <p>若者や関係人口、海外アーティストの参画など、人口減少対策や国際文化交流に繋がる文化芸術活動の実施が求められており、若者が地域で文化芸術活動を行うことによる「郷土愛」を高めていく必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>地元の学校等との連携強化を図り、そのノウハウや人的ネットワーク等を活用して地域実行団体の体制強化・人材育成を行う。また、市町等の補助金に頼らない多様な財源の確保を推進し、地域での自走を図る。</p>	
iv	長崎ゆかりの偉人のさらなる顕彰や本県と中国との交流の歴史などの情報発信による認知度向上と海外との交流拡大、県内の日本遺産等を通じた長崎固有の歴史・文化の県内外への発信		
	<p>●実績の検証及び解決すべき課題</p> <p>隠元禅師の顕彰については、黄檗文化交流会の開催などの日中関係者の交流による情報発信や、ウェブサイト「旅する長崎学」による海外向け情報発信の強化に取り組んだ。ただし、長崎ゆかりの偉人に対する認知度向上や海外との交流拡大については、コロナによる中断の影響等もあり、まだ十分ではなく、行政主導による取組の側面が強い。</p> <p>日本遺産「国境の島」については、多言語パンフレット作成や日本遺産イベントへのブース出展PR、長崎歴史文化博物館、県庁及び各協議会部会でのパネル展などによる情報発信・普及啓発を実施してきた。今後さらに、日本遺産そのものの知名度を高め、文化観光の進展やコロナ後の地域活性化事業に取り組んでいく必要がある。</p> <p>国へ申請した令和3年度から令和7年度までの長崎県文化観光推進地域計画に基づき事業を計画的に実施しており、文化観光施設への誘客喚起、来訪者の満足度向上につながる、施設のソフト・ハード両面における機能強化を図っている。計画期間の後半においては、文化観光を活かした周遊促進等による経済効果の波及や、地域の活性化につなげていくための施設連携について更なる強化を図り、文化観光拠点施設の魅力と地域の魅力を顕在化するためのコンテンツを創出する必要がある。</p>	<p>●課題解決に向けた方向性</p> <p>長崎ゆかりの偉人の顕彰については、民間の動きを活発にするとともに、国内外に広く分かりやすく情報発信するなどの取組を継続して行うことにより、孫文と梅屋庄吉の友情の物語や、隠元が日本文化に与えた影響に対する認知度・理解度を高め、交流の拡大・多様化につなげていく。</p> <p>日本遺産については、令和7年度が「国境の島」認定10周年であることもあり、各地域の構成資産や歴史ストーリーが持つ魅力の磨き上げを図ることや、連携した誘客対策等により、ふるさと教育や観光誘客の促進に取り組むとともに、日本遺産の全国イベントをはじめ、様々なイベントや各種媒体で魅力を発信して知名度向上を図っていく。</p> <p>また、県内の博物館・美術館が収蔵する資料の中から、海外交流と信仰にまつわる内容を厳選して紹介する書籍の一部内容をホームページで発信するなど、本県の歴史を受け継がれる文化と併せて紹介するとともに、博物館等の魅力増進、文化観光拠点施設の魅力と地域の魅力を顕在化するためのコンテンツを活用し、本県の文化観光の魅力について発信していく。</p>	

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目i	○	1	文化芸術ながさきステップアップ事業費	<p>作品輸送費等にかかる経費への支援を行うとともに、新たに子ども県展と連携し特別賞作品を展示し、観覧者数の確保を図る。</p> <p>また、より質の高い文化事業の企画・運営と県内文化団体の活動の活性化を目指し、文化芸術分野の専門性の高い人材を確保し、長崎県文化団体協議会の体制強化を図っていく。</p>	②③⑥	<p>出品者の増加と観覧者にとって魅力ある「県内最大の総合美術展」を目指し、出品資格の見直しやオークション・ワークショップの充実等を引き続き検討する。</p> <p>また、長崎県文化団体協議会の体制強化を図ることにより、県内の文化芸術団体、地域文化の活性化、若者人材の掘り起こし等につなげ、より効率的かつ効果的な事業の推進とながさきピース文化祭2025後も持続的な芸術文化事業を運営できる基盤づくりと、文化基金への寄附など自主財源の獲得を目指す。</p>	改善
			R2-				
			文化振興・世界遺産課				
	○	2	ながさき未来のアーティスト応援事業費	<p>令和7年度は、引き続き離島や半島、過疎地域など文化芸術に触れる機会の少ない子どもたちを対象としたワークショップを行い、子どもたちのアートスタートを促していく。</p> <p>また、ワークショップの受入施設だけでなく、保護者や市町関係部署、地域の文化団体等へ広く取組を周知するための体験会や啓発イベントを開催する。</p>	②④⑤⑥	<p>子どもたちの文化芸術活動を支える体制づくりや、本県にゆかりのあるアーティストと地域のコミュニティを構築するために、関係市町や地域文化協会、大学や民間団体等と連携体制を構築していく。</p>	改善
			R6-8				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目ii		3	マニアが集う長崎プロジェクト費	<p>専門家や県庁内のマニアとの意見交換を踏まえ、これまで取り組んできたマニア向けのコンテンツ作りや情報発信に加え、新たに市町や民間団体と連携を図りながら、アニメを活用した聖地巡礼ツアー等を展開することとした。</p>	②④⑤⑥	<p>より効果的な事業実施に向けて、専門家等との意見交換を図りながら、必要な改善を行っていく。</p>	改善
			R6-8				
			文化振興・世界遺産課 観光振興課 物産ブランド推進課				

取組項目 ii	○	3-1	マニアが集う長崎プロジェクト費	交流人口の拡大のほかに、県民が本県を舞台にした作品を通じて、地域の文化的価値を再認識し、シビックプライドの醸成につなげていくため、県内向けの事業を強化することとした。	②④⑤⑥	これまで事業を一体となって取り組んできた出版社や作家、関係市町等との連携を一層強化しながら、本県ゆかりの作品を通じた地域の魅力発信による交流人口の拡大やシビックプライドの醸成に繋げていく。	改善
			R6-8				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目 iii	○	4	みんなで創る！ながさき国際文化芸術プロジェクト事業費	ながさきピース文化祭2025と若者が参加するイベントを一体的に行い、開催市町の事業と連携しながら効果的な事業実施を図っていく。また、若者が地域のコミュニティとの対話を繰り返しながら、アート作品を制作するなど新しい取組の実践に努める。	②③⑤⑥	各市町や地域で活躍する事業者のほか、連携協定を締結する東京藝術大学等との連携を活かして人材育成を図るとともに、ながさきピース文化祭2025を契機に高まった地域文化への関心を一過性に終わらせず、地域資源の磨き上げや若者の参画を継続的に推進していく新たな仕組みづくりを検討し、交流人口の拡大に繋げていく。	終了
			R4-7				
			文化振興・世界遺産課				
取組項目 iv	○	5	「長崎の歴史」魅力再発見・発信事業費	令和7年度は、コロナで交流が止まっていた中国・湖北省などの人的ネットワークの再構築、博物館交流の再開に取り組むとともに、これまで構築したネットワークを生かした交流事業として、中国・福建省や京都など隠元禅師ゆかりの地と連携した国内外への情報発信、本県の認知度向上につながる取組の推進を図る。 日本遺産「国境の島」の取組については、令和7年度が日本遺産「国境の島」認定10周年であることから、様々な機会を捉えて情報発信等を行い、知名度向上につなげていく。	②③⑥	今後、欧米や国内でも知られている天正遣欧少年使節や、日本遺産、中国長崎ゆかりの偉人、長崎学など長崎特有の歴史・文化と観光を融合させ、専門家の意見も踏まえた新たな魅力の発掘、本県への誘客までを見据えた情報発信や誘客促進等の取組を、関係地域とも連携を深めながら積極的に進めていく。 また、令和7年度の日本遺産「国境の島」認定10周年の事業成果等を踏まえて、関係市町とも連携しながら更なる認知度向上や誘客促進に向けた新たな取組を検討していく。	終了
			R3-7				
			文化振興・世界遺産課				
		6	日本遺産「国境の島」認定10周年記念事業	R7新規	②⑤⑥⑦	—	終了
			(R7新規)R7				
			文化振興・世界遺産課				
	○	7	長崎県文化観光推進事業費	令和7年度までの長崎県文化観光推進地域計画に基づき、博物館等の展示内容の充実や機能強化を進めてきた館の魅力、及び地域の魅力を顕在化するために作成したコンテンツを活用しウェブサイトを作成することで、より幅広く発信し来訪者増加・周遊促進を図る。	③⑤⑥⑧	5ヶ年計画である地域計画は終了するが、今後、文化拠点の連携・協力体制構築及び情報発信を行い、各施設の魅力向上及び認知度向上を図っていく。	終了
			R3-7				
			文化振興・世界遺産課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

<p>【事業構築の視点】</p> <p>① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができていないか。</p> <p>② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。</p> <p>③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。</p> <p>④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。</p> <p>⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。</p> <p>⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。</p> <p>⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。</p> <p>⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。</p> <p>⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。</p> <p>⑩ その他の視点</p>
--